

第9回国際学術フォーラムを開催します！

仏教ソーシャルワーク探求の旅、その先へ
～なぜ世界は仏教ソーシャルワークを無視できないのか～

淑徳大学アジア国際社会福祉研究所
第9回国際学術フォーラム

仏教ソーシャルワーク探求の旅、その先へ
～なぜ世界は仏教ソーシャルワークを
無視できないのか～

基調講演:

アベ・タッセ (Tassé Abye) 教授

国際ソーシャルワーク学校連盟(IASSW)元会長

現在 国際ソーシャルワーク学校連盟、国際社会福祉協議会、国際ソーシャルワーカー連盟
を代表し グローバル・アジェンダ・プロジェクト(2020年～2030年)を主導

2025年2月15日(土)

午前10時～午後4時半

淑徳大学東京キャンパス 9号館にて

* オンライン配信あり(ZOOM)

* 日英同時通訳付き・参加費無料

主催: 淑徳大学 アジア国際社会福祉研究所
Email: asiainst@soc.shukutoku.ac.jp



仏教ソーシャルワークと国際ソーシャルワークの研究が交差し、
新しいソーシャルワーク研究ステージの確立に向け歩き始めます

アジア国際社会福祉研究所が併設するアジア仏教社会福祉学術交流センターは、2014年開設当初から、アジア各地の仏教僧院、僧侶・尼僧、仏教信徒たちが実践している活動を学んできました。そして、アジア仏教ソーシャルワーク研究ネットワークを作り、「仏教ソーシャルワークの探求」研究シリーズを、英・和文11巻を刊行しました。今日、世界のソーシャルワークの関心は、インディジナス・ソーシャルワークや、ソーシャルワークの脱植民地化に向いています。この時代の後押しもあり、仏教ソーシャルワークは世界のソーシャルワーク研究者の関心を集め始めました。一方で、仏教ソーシャルワークの議論は、「ソーシャルワークとは何か」から、新たな旅を始める時期に来ています。研究所の仏教ソーシャルワーク研究は、何が見えるようになり、何がまだ見えていないのか？世界はなぜ無視できないのか？国際ソーシャルワーク教育学校連盟会長を歴任したアベ・タッセ先生のご協力を頂き、2025年2月に国際学術フォーラムを開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。